

品質保証・製品安全

品質に対する考え方・品質基本方針

SIIはお客様にお届けする製品を、お客様の視点に立って、安全に、そして安心してお使いいただくために、全グループを挙げて幅広い品質保証活動を展開しています。

「お客様価値を創造するQ(Quality 品質)、C(Cost コスト)、D(Delivery 納期)、S(Safety&Service 製品安全及びサービス)を提供する」

これはSIIグループの品質基本方針です。品質のみならず、コストも納期もそして製品の安全性も含め、お客様にご満足いただきたい、というSIIの強い意志が込められています。

この品質方針を具体化するために、品質保証推進体制を構築し、以下を基本施策として取り組んでいます。

1. 品質、製品安全に関する国内外の技術法規制、各種規格の遵守
2. 開発・設計段階での品質、製品安全の作りこみのしくみづくりと人材育成
3. 品質、製品安全に関する情報の共有化

安全・安心を作りこむ品質保証

SIIの製品安全への基本的な考えは、「お客様へ安全な製品、サービスを確実に提供し、お客様の安心と信頼を高めること」です。継続的な製品安全教育を実施し、製品安全意識の向上と安全技術者を育成しています。

また、SIIグループ内に製品安全連絡会を設置し、全製品について定期的に製品安全・技術法規制点検を行い、製品の安全性と各国法規制への適合を検証しています。

万が一、SIIの製品による事故が発生した場合は、10分以内に経営トップへ報告し、同時に問題の早期解決と再発防止を図った上で、全社で情報の共有化と水平展開を進めています。

お客様との対話

お客様相談室

SIIお客様相談室では、お客様からのお問い合わせやご相談などに、迅速で正確、誠実な対応を心掛けています。さらに寄せられたご意見、ご要望、お困りの声は、関係する事業部と共有し、製品の品質改善など有効に活用させていただきます。

また、製品の取扱相談窓口や修理サポート・サプライ窓口の対応改善などを提言し、お客様にご満足いただけるアフターサービスの品質向上にも力を注いでいます。

安全・品質情報の開示

消費生活用製品安全法の施行に合わせ、SIIホームページに「製品に関する大切なお知らせ」アイコンを設置しています。SIIの製品の安全・事故情報及び重要品質情報を、速やかに且つ的確にお客様にお伝えし、お客様の不利益を最小限に食い止めるよう努めています。

社員に対する支援

人権尊重の考え方

SIIではSII企業行動憲章の「第3条 人間尊重と人材育成」において、

- ・社員の人格と多様性を尊重し、安全で働きやすい環境を実現します。成長を支援し、公正な評価と処遇に努めます。
- ・事業活動において関わる全ての人々の人権と人格を尊重します。
- ・高い倫理観を持ち、創造性と専門性に優れた人材の育成に努めます。

と掲げ、グループ内での徹底を図っています。

海外の関連会社でも、各々の文化・慣習を反映しながら「人間尊重の基本ポリシー」の明文化を進めました。この「人間尊重の基本ポリシー」のメッセージに込められた精神に基づいて、ステークホルダーに対して行動するように社員に徹底しています。

ワークライフバランスの実現

SIIでは社員の一人ひとりが能力を十分に発揮できるように、仕事と家庭生活との両立を支援する各種制度を定め、継続的な充実も図っています。

2019年度からは、所定の始業・終業時刻を一定の範囲でシフトできる制度(勤務時間シフト制度)を導入しました。この制度は、育児や介護といった事由に関わらず、ボランティアや勉強など自身のプライベートの充実を目的としています。また、同様に、事由を問わず短時間勤務ができる制度(短時間制社員制度)、週休3日の制度(短日勤務制度)も導入しました。この他にも、介護休職制度については、対象家族のうち一人について最長3年間までの取得を認め、長期に渡る可能性のある介護と仕事の両立を支援しています。

2022年度も前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から在宅勤務を継続実施しました。今後はワークライフバランスを目的とした在宅勤務制度を労使で構築し、導入していく予定です。

【制度と利用実績】

制度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
育児休職	21名	23名	16名	22名(内、男性3名)	17名(内、男性7名)
育児短時間勤務	24名	22名	17名	22名(内、男性1名)	19名(内、男性1名)
介護休職制度	0名	0名	2名	0名	0名
介護短時間勤務	1名	1名	0名	0名	0名

安全と健康

安全衛生の考え方

SIIでは、すべての社員が「安全で、安心して働ける」、すべての社員が「心身ともに健康である」ことが企業を支える根幹をなすものと考えています。

2008年に定めた「SIIグループ労働安全衛生方針」のもと、SIIグループすべての拠点において、工場災害及び労働災害の未然防止や、高いレベルの安全を追求し、快適な職場環境づくりに継続的に取り組んでいます。

公正で誠実な購買活動

持続可能な調達の方針

SIIは、「セイコーグループ調達方針」に準拠し、持続可能な調達の実現のため、その方針に掲げられた「お取引先との共存共栄」、「環境・社会・ガバナンスに配慮した調達活動の推進」、「お取引先の公平・公正な評価」の実践に努めています。

サプライヤー認定制度

SIIでは、サプライヤー認定基準を用いて公平な取引先選定を図るとともに、購買サプライチェーンでCSR体制を構築しています。

■ SII グループのサプライヤー認定基準

- ・誠実で公平な取引、人間尊重、社会との共存等を実行するための仕組み
- ・安定した経営状況
- ・環境管理体制
- ・品質、リスクマネジメント等の管理体制

2022年度は、サプライヤー認定制度の適正な実行に努めました。

セイコーグループは、2022年度に環境、人権、労働、社会などについてサプライヤーに遵守していただきたい事項をまとめた「調達ガイドライン」を策定し、運用の検討を進めています。2023年度、SIIはセイコーグループで定めた運用の展開を図ります。

下請代金支払遅延等防止法（下請法）の遵守

下請法は購買活動において特に重要な法律です。

SIIでは、本社購買部門に下請法事務局を置き、日常業務における適切な指導、教育等を通じてグループの購買関係者との連携のもと下請法の遵守に取り組んでいます。

購買リスク管理

製品を提供するメーカーとして、購入部品の供給停止リスクを最小限に抑えることは重要です。購買部門では、地震などの災害発生時に迅速な初動アクションが取れるように、重点管理サプライヤーを明確にし、製造拠点の所在地を把握、かつ、部品の供給停止を防ぐため、代替先や代替品の選定を進めています。

紛争鉱物への対応

SIIは、コンゴ民主共和国および周辺諸国における人権侵害、不正に関わる組織の資金源とされる紛争鉱物問題を、国際的な重大問題と認識しています。

SIIでは、2012年3月に「SIIグループ紛争鉱物対応方針」を制定しました。

サプライヤーの皆様にもご協力をいただきながら、紛争鉱物の使用禁止を推進しています。

地域・社会とSII

学術・技術振興

■ 公益財団法人 新世代研究所

SIIは公益財団法人 新世代研究所(以下、ATI)への寄付や業務支援を通じて、社会貢献としての学術振興に寄与しています。ATIは個性ある有能な研究者を集め、それぞれの専門領域を越えた討議、交流の場を作るとともに、若手研究者への助成を行うなど、新世代の科学、技術の発展に貢献することを目的としています。2018年6月、SIIはATIに対して行った寄付に対して、公益に資するものとして「紺綬褒章」を受章しました。

環境社会貢献活動

■ 植栽活動 - セイコーインスツルの森 -

幕張事業所は、2014年8月に千葉県と「法人の森協定」を締結し、千葉県の九十九里浜沿いにある「セイコーインスツルの森」にてクロマツの植栽を行っています。2022年度は千葉県森林組合に委託し、下刈や防球ネットの修繕を行いました。2023年4月には2回目の協定を更新しクロマツの成長を見守り続けています。



■ 地域清掃活動

SIIの国内外の各拠点では、地域社会への貢献や環境保全の一環として定期的に事業所周辺や沿道などの清掃活動を行っています。

Seiko Instruments (Thailand) Ltd.のNavanakorn工場とGateway工場の両工場では工場前の道路清掃を実施しました。当日は合計で150名の社員が参加しました。



育成支援

SIIの国内外の各拠点では、工場見学の受け入れや地元の児童・生徒の就業体験に継続的に協力しています。秋田事業所では、2022年8月に地元の高校より2名のインターンシップを受け入れました。生徒のお二人には、会社説明の後、検査工程にて実際に検査業務を体験してもらいました。

地域社会活動

Seiko Instruments (Thailand) Ltd. では、社員15名が地元の小学校(Lychee Uthit School)を訪問し、学習用具などを寄贈しました。この他、Gateway工場では献血活動に協力しています。2022年度は2回実施し合計42名が参加しました。

